

CALLERLAB 情報

ベーシック動作の定義、改定の詳細（2017-08-13 付改定分）

36. Trade Family(トレード ファミリー)

36.a. Trade (トレード)

動作を始める隊形： ミニウェイブ、カプル、以下に示すような、隣り合っていないダンサー。

コール例：

Centers Trade

Boys Trade

Ends Trade

Heads Square Thru 4, Touch 1/4, Girls Trade

Center 6, Trade

動作：

二人のダンサーは、半円を描くように前進して互いに位置を交換する。二人が同じ方向を向いていて途中すれ違う場合は、右肩ですれ違う（参照：「総記：Conventions and Rules（約束事と規則）：Passing Rule（通り過ぎるときの規則）」）。元の位置で自分が向いていた方向とは逆方向を向いて終わる。

動作を終わる隊形： ミニウェイブ、カプル、以下に示すような、隣り合っていないダンサーとの隊形。

タイミング： ミニウェイブ 3拍、カプル 4拍、隣り合っていないダンサーとは追加の拍数。

スタイリング：

ミニウェイブからは、取り合った手はそのまま維持する。

カプルからは、ダンサーは取り合った手を少し後ろへ振るようにしながら放す。このことが前に動き始めるときの正しい方向を教えてくれる。

注釈：

二人のダンサーは、同じ方向を向いている時か、反対向きするときだけ Trade (トレード) 出来る。更に各ダンサーは、直接他のダンサーの右か左に居なければならないが、隣りあわせでいなくても良い。

ダンサーを指定しない“Trade (トレード)”は、“Everyone Trade (エブリワン トレード)”を意味する。

コーラーは時にして、このコールに補助語を用いる。例えばノーマルな向かい合ったラインに対し、“Pass Thru, Girls Trade down the line”のように隣の女性に対してでは無い警告を与えることがある。他の例では、“Trade by the Right (or Left) (トレード バイ ザ ライト (またはレフト))”のように Trade (トレード) をするペアが右手 (または左手) を取ったミニウェイブ (Right Handed (or Left-Handed) Mini-Wave) なのかを指し示す。

あるケースではペアを指示する必要がある。(例えば、Alamo Ring からの、“Trade by the Right”)。またダンサーを指示することもある。(Inverted Line (エンズとセンターの向きが逆向きになっているライン) から、“Those Who Can, Trade by the Left”のように)。

基本的には英語を母国語とする国以外でのことだが、ダンサーが、「時として“Trade by the Right”を“Trade By (#49)”と聞き間違える」事に、コーラーは注意を払う必要がある。このような時には、“Trade with the right hand” がより結果を生む。

このコールは、しっかりと四人のダンサーがお互いに右ないし左にいるとき、たとえば、“Heads Pass the Ocean, Extend, Everyone Trade” のようなときに、外側のダンサーとその隣にいる内側のダンサーとの間での動作であり、各々外側のダンサーとその内側のダンサーとの間で別々に分かれて行われる。同じように 6 人から 8 人のダンサーが直接右や左で接しているとき、“Trade”では、トレードをするペアは外側から内側に向けて決められる。

例として、“Heads Lead Right, Pass the Ocean, Girls Trade, Boys Trade” を考えてみる。各々の“Trade (トレード)”では、ペアは同じサイド (側) にいる。このことは、補助語を使うとより明確になる。“Each Side, Boys Trade,”と。さらに「総記： Way of Naming Dancers(ダンサーの呼び方)： Centers/Ends (センターズとエンズ)」を参照。

36. b. Partner Trade(パートナー トレード)

動作を始める隊形： カブルのみ。

コマンド例：

Partner Trade

Double Pass Thru; Leaders Partner Trade

Boys Partner Trade

動作： 二人が互いに位置を交換する。

動作を終わる隊形： カプル

タイミング： 4拍。

スタイリング：

カプルから、ダンサーは取り合った手を少し後ろへ振るようにしながら放す。この動作が前に動きだすときの正しい方向を教えてくれる。

注釈：

“Trade (トレード) ”よりも“Partner Trade (パートナー トレード) ”を使うほうが一般的だ。がどちらも同じ効果だ。“Partner Trade”を使うほうが、ダンサーが右肩で通り過ぎる事を予想し易い。

ダンサーが隣り合っていないときに、“Partner Trade (パートナー トレード) ”を使うのは不適切なコールだ。

2017年に、メインストリーム委員会では、票決により “Partner Trade (パートナー トレード) ”の「動作を始める隊形：」に **カプルのみ** の制限を設けた。

36. c. Couples Trade (カプルズ トレード)

動作を始める隊形：

トゥ フェイスト ライン、ワン フェイスト ライン、以下に示すような、隣り合っていないカプル。

コマンド例：

Couples Trade

Center 4, Couples Trade

Center Couples Trade

Outside 4, Couples Trade

動作： カプルは一体となって、Trade (トレード) をする。

動作を終わる隊形：

トゥ フェイスト ライン、ワン フェイスト ライン、以下に示すような隣り合っていないカプル

タイミング :

トゥ フェイスト ライン 6 拍、ワン フェイスト ライン 8 拍、隣り合っていないカプルには追加の拍が必要。

スタイリング :

各々のカプルはつないだ手を離さない。トゥ フェイスト ラインからでもつないだ手は離さない。

注釈 :

二つのカプルは、同じ方向を向いているか、逆向きするときだけ“Trade (トレード)”ができる。加えて、各カプルは他のカプルの右側ないし左側に真っ直ぐ接していなければならない。隣り合ったカプルである必要はない。

右ないし左に直接接している四つのカプルがある場合は、ダンス動作は、外側のカプルとその隣にいる内側のカプルとの間で行われる。

コーラーは、“Couples Trade by the right”のような補助語を使ってもよい。

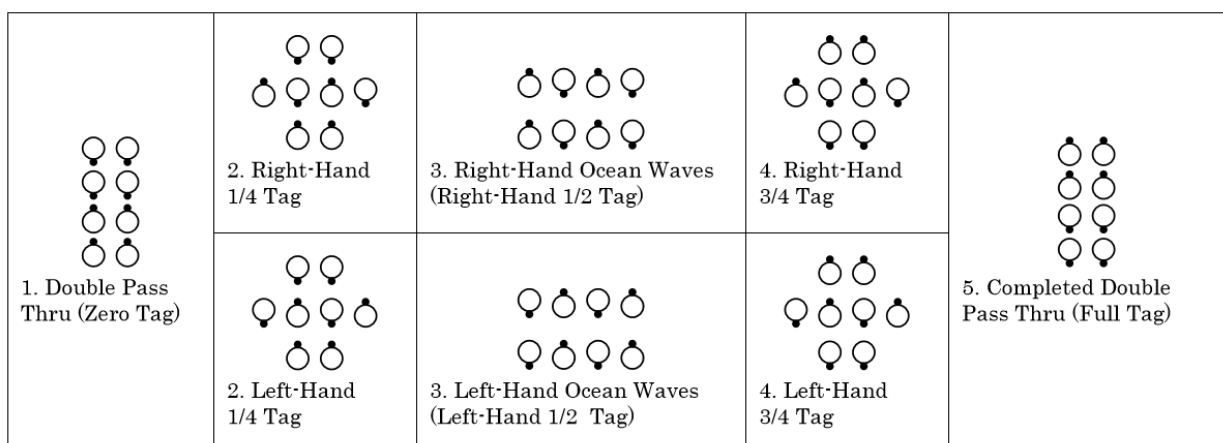
「36.a. Trade : 注釈 : 」を参照。

42. Extend (エクステンド)

Extend (エクステンド) は、ダンサーを一つの「タッグ隊形」から次の「タッグ隊形」へと前に進める意味を含んでいる。8人のダンサーに向けて五つの「タッグ隊形 (Tagging Formations)」がある。順に並べると

1. ダブル パス スルー (Zero Tag)
2. 1/4 タッグ (1/4 Tag)
3. オーシャン ウェーブ (1/2 Tag)
4. 3/4 タッグ (3/4 Tag)
5. コンプリーテッド ダブル パス スルー (4/4 Tag)

8人のダンサーのタッグ隊形



このコールは当初“Extend the Tag(エクステンド ザ タッグ)”と名付けられていた。1988 年に、動作を変更することなく、“Extend (エクステンド)”と名前を短くした。

動作を始める隊形：

最初の四つのタッグ隊形（例えば、ダブル パス スルー、1/4 タッグ、オーシャン ウェーブ、そして 3/4 タッグ）と後ほど説明される関連する「4 人のダンサーのタッグ隊形」。

コマンド例：

E x t e n d

動作：

1 つのタッグ隊形から、次のタッグ隊形まで前に進む。できるならば、「注釈：」で説明されている「手の取り方」を維持する。

動作を終わる隊形：

残りの四つのタッグ隊形（言い換えれば、1/4 タッグ、オーシャン ウェーブ、3/4 タッグ、そしてコンプリヘッド ダブル パス スルー）と後ほど説明される関連する「4 人のダンサーのタッグ隊形」。

タイミング： 2 拍。

スタイリング：

すべてのダンサーはコールの結果予想される隊形（カプル手の取り方やオーシャン ウェーブの手の取り方）に備える。

注釈：

なかほどの 3 つのタッグ隊形(すなわち、1/4 タッグ隊形、オーシャンウェーブ隊形、それに 3/4 タッグ隊形)は、どれもオーシャン ウェーブや複数のオーシャン ウェーブの手の取り方により決定される右手や左手の隊形である。

1/4 タッグやオーシャン ウェーブ隊形からダンサーは、前に進んで動作を始めた時と同じ隊形の手をとって動作を終わる。ダブル パス スルー隊形からは右手の 1/4 タッグ隊形になる。

動作を始める隊形で左手をとっていたら、コーラーは時として “Extend to Left-Hand Waves”のような補助語を与えるとよい。“Extend”で持ち手を変えさせるのは不適當だ。たとえば、“Heads Pass The Ocean, Extend to Left-Hand Waves”のような。

1/4 タッグ隊形から、“Centers Extend” あるいは “Centers Extend to the Ocean Waves” は使うべきでない。なぜならこれらの語句はセンターズだけがアクティブであったり、センターズだけが動くものと間違った解釈をさせる。

ダンサーの一部だけに、“E x t e n d”をさせるコール、(Heads Pass The Ocean, Just the Boys Extend”のような) は、ギミック (からくり) と考えられる。

(参照：“付加細目： Commands(指示)： Gimmicks(特異な動き)”)。他のギミックとして、Heads Ladies Chain 3/4, Line of 3 Touch 1/4, All Extend (to a Column)


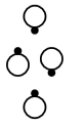






向かい合ったラインやタイダル ウェーブからの“E x t e n d”は不適當である。これらの隊形からダンサーを一歩前に進めるには、コーラーは、“step to a wave”や、“step thru (又は右手のタイダル ウェーブからならば Pass Thru) ”を使うべきだ。

4 人のダンサーのコールに“Extend”を使うには

“Extend (エクステンド)”は通常、8 人のダンサーに対して使われるコールであるが、“Tag The Line”とおなじ隊形上の関連する 4 人のダンサーに対しても使われる。

ダンサーに対する 動作： タイミング： スタイリング： および注釈： は、これらの「4 人のダンサーのタッグ隊形」にも適用される。メインストリームではこのような適用の仕方は稀にしか出会わないし、きっとワークショップが必要だろう。

4 人のダンサーのタッグ隊形

 <p>1. Facing Tandems (Single Zero Tag)</p>	 <p>2. Right-Hand Single 1/4 Tag</p>	 <p>3. Right-Hand Box Circulate (Right- Hand Single 1/2 Tag)</p>	 <p>4. Right-Hand Single 3/4 Tag</p>	 <p>5. Back-to-back Tandems (Single Full Tag)</p>
	 <p>2. Left-Hand Single 1/4 Tag</p>	 <p>3. Left-Hand Box Circulate (Left- Hand Single 1/2 Tag)</p>	 <p>4. Left-Hand Single 3/4 Tag</p>	

注： 一つの 1/4 (あるいは 3/4) タッグ隊形は、横に並んだ 2 つの シングル 1/4(または 3/4)タッグ隊形 である。何故なら外側のダンサーはお互いに近づいてカプルになっている。(「付加細目： Dance Action (動作)： Square Breathing(スクエアの拡大と縮小)：」の項を参照。)

稀な使い方ではあるが、外側のダンサーが内側のダンサーの取り合った手ではなく背中を見ているような、ある種の“ゆがんだ シングル 1/4 タッグ隊形(distorted Single 1/4 Tag Formation)”からの“Extend”の使い方は妥当である。

たとえば“Ends Fold, Everyone Extend”の使い方は、オーシャンウェイブからは妥当であるが、トゥフェイストラインからは不適當だ。ダンサーが普段とは異なる位置から、Extendを適用するには、他のダンサーとタンデム（二人が縦に並んだ隊形）からでなければ妥当とされない。

43. Wheel And Deal (ウィール アンド ディール)

動作を始める隊形： トゥ フェイスト ライン、または同じ方向を向いた4人一列のライン。

コマンド例：

Wheel And Deal

動作：

各々のカプルは一体となって動く。以下の動作の説明では動作を二つに分けて説明するが、“Wheel And Deal (ウィールアンドディール)”は一連のスムーズな動きで踊る。

トゥ フェイスト ラインから、各々のカプルは一步前を出て、ラインの中心に向かって回転するように180度向きを変える。元のラインのセンターにいた人を回転の中心にするようにして。カプルはお互い向かい合って動作を終わる。

ワン フェイスト ラインからは、左側にいるカプルは前進する。その後各々のカプルは元のラインの中央にいたダンサーが、カプルが向きを変えるときの回転軸になるようにしながら、ラインの中央に向かって180度向きを変える。右側から動作を始めたカプルが他のカプルの前で終わる。

動作を終わる隊形： トゥ フェイスト ラインから始めたときは、向かい合ったカプル。

ワン フェイスト ラインからは、タンデム カプル。

タイミング： 4拍。

スタイリング： カプルの手の取り方をする。元のセンターにいたダンサーは、元のエンド ダンサーの周りを円弧を歩くように、手をつないだままガイドする。

注釈。

このコールの理解を助けるために、役立つのは。

- ラインの中央に向かって回転する。(バンド ザ ラインのように。でも常に左に回るウィールアラウンドのようにではなく。)
- 各々のカプルは動作を始めたときと反対を向いて終わる。
- ワンフェイス ラインからは、
 - 右側のカプルが前で終わる。
 - カプル同志は、右側のカプルの右肩ですれ違う。

ワン フェイス ラインからの、右側のカプルのより詳細な動作は、回転の後一歩前に出ることだろう。だからタイダル ラインからは“Wheel And Deal (ウィール アンド ディール) “はトゥ フェイス ラインで終わる。スクエア ブレッシング (「付加細目 : Dance Action (動作) : Square Breathing(スクエアの拡大と縮小) : 」を参照。) により“Wheel And Deal(ウィール アンド ディール)”の一歩前に出るのは、内向きのラインに対して声かけられるが、外向きのラインに対しては不要である。

以上

<技術委員会・SD 小委員会>